

# 「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先0282-22-7079(増田)

HP：太平山麓九条の会で検索

Eメール [oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp](mailto:oohirasanroku9jc@yahoo.co.jp)

147号  
2019年8月23日発行

## 太平山麓九条の会・カフェ 交流の集い 音楽を楽しんだ後、憲法の大切さを再確認！



7月27日（土）大平公民館で「太平山麓九条の会・カフェ 交流の集い」が行われました。初めに「クラヴェール弦楽四重奏団」（ドイツと日本のハーフである4人の兄妹たちによる弦楽四重奏団）による演奏に心癒された後、「九条の会の活動」についての感想や今後の活動への考えなどが話されました。

演奏の後、クラヴェール兄妹やそのお母さんも話し合いに参加してくれ、戦時中の行為に対するドイツの取り組みなども知ることができました。

会の最後に、長い間「太平山麓九条の会」の代表として尽力くださった齋藤昭俊さんをご高齢と体調の関係で代表を降りられたことを報告いたしました。

新しい代表については、当面スタッフが交代で当たることを報告して会を閉じました。



### こんなことが話されました

○九条も大事だが憲法前文は重要。自分は暗記し、寝る前に暗唱する。孫にも覚えさせた。主権者として国民が育っていない。道徳はいらぬ。憲法を知らなければ。皆さんが暗記することで理解者が増える。

○九条の会についてはネットで拝見しているが、高齢化しているとのこと。子育て世代がはいってこないのはなぜ？  
○日本の学校では憲法教育していないし、戦争の話聞くことはないし選挙の話もでないし、家庭でも話さない。史実を身近に学ぶことがない。ドイツは、歴史に学び、二度と間違いをしないよう教育がされている、と聞いたが、どうか

○中一、二くらいには第二次世界大戦でドイツがやったことを繰り返してはならないと歴史を学ぶ。自分のクラスは政治の話ばかりしている。

○子どもに考えさせる自由が日本にはない。憲法は中学校で教えてきたけど、教わっていないという印象の人が多い。年金も生存権に関わること。それも九条に関係ある。

○戦時中に戻したらいけない。上級生が、朝礼台で挨拶して特攻にでて行った。

○戦争が終わって国がひっくり返った。死ぬための教育が、死んではいけないひとり一人が大事という時代になった。安倍政権になって、憲法の勉強しなくてはと反省した。学校の話や聞くと絶望的。そこで家庭で出来ること、それは絵本。伊藤真さんの絵本は憲法の基本をわかりやすく書いてある。

○立憲主義が問われている。選挙が終わってちよつと安心してしまうが、閣議決定のように、やっつてる政治が乱暴なので常に抵抗していかないと・・・

○スタンディングは効果があると思う  
○九条の会議で憲法を唱和するのは、どう？

- スタンディング 9月9日（月）市役所前 9月19日（木）カワチ・イオン前交差点 両日とも16時から
- スタッフ会議 9月5日（木）・20日（金）・10月10日（木）・31日
- 無言館・檻の俳句館見学旅行 10月24日（木） 詳細はチラシをごらんください

# 参議院選—改憲勢力3分の2は阻止！今後の活動は？



参議院選挙の結果を受けて「九条の会」は以下の新たなアピールを出しました。

参院選を経て、安倍改憲をめぐる情勢は新たな局面に入りました。2017年5月3日の改憲提言以来、自民党は衆参両院における改憲勢力3分の2という状況に乗じて改憲を強行しようとするさまざまな策動を繰り返してきましたが、その後2年にわたり市民の運動とそれを背にした野党の頑張りによって改憲発議はおろか改憲案の憲法審査会への提示すらできませんでした。そして迎えた参院選において、改憲勢力は発議に必要な3分の2を維持することに失敗したのです。

3分の2を阻止した直接の要因は、市民と野党の共闘が、「安倍政権による改憲」反対、安保法制廃止をはじめ13の共通政策を掲げて32の一人区全てで共闘し、奮闘したことです。また、安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション、九条の会が、3000万署名を掲げ戸別訪問や駅頭、大学門前でのスタンディングなど草の根からの運動を粘り強く続けることで、安倍改憲に反対する国民世論を形成・拡大する上で大きな役割を果たしたことも明らかです。

しかし、安倍首相は任期中の改憲をあきらめていません。それどころか首相は、直後の記者会見において「(改憲論議については)少なくとも議論すべきだ」という国民の審判は下った」と述べて改憲発議に邁進する意欲を公言しています。これは、安倍首相一流のウソを本当のように言うもので、参院選の期間中もその後も、「安倍政権下での改憲」に反対の世論は多数を占め、改憲勢力が3分の2をとれなかったことこそが真実です。

ところが、安倍首相は、自民党案にこだわらないと強調することで、野党の取り込みをはかり3分の2の回復を目指すなど、あらゆる形で改憲強行をはかろうとしています。

安倍9条改憲を急がせる圧力も増大しています。アメリカは、イランとの核合意から一方的に離脱し挑発を繰り返した結果、中東地域での戦争の危険が高まっています。トランプ政権はイランとの軍事対決をはかるべく有志連合をよびかけ、日本に対しても参加の圧力を加えています。こうしたアメリカの戦争への武力による加担こそ、安倍政権が安保法制を強行した目的であり、そして安倍9条改憲のねらいにほかなりません。辺野古新基地建設への固執、常軌を逸したイージスアショア配備強行の動きも9条破壊の先取りです。

6年半を越える安倍政治への不信とあきらめから、投票率が50%を割る事態が生まれています。この民主主義の危機を克服し再生するためにも、市民一人一人の草の根からの決起が求められています。参院選で3分の2を阻んだ市民の運動に確信をもち、安倍9条改憲 NO! の3000万署名をさらに推進し、広範な人々と共同して草の根から、9条改憲の危険性を訴える宣伝と対話の活動を強めましょう。

同時に、どんな口実であろうと自衛隊の有志連合への参加・自衛隊の海外派兵、さらなる軍事力の増強を許さない闘いを、安保法制の全面発動、実質的な9条破壊を許さない闘いとして取り組みましょう。

参議院選挙後の新たな改憲情勢を迎えて

九条の会

「9条の会」若者助っ人に期待する

山本馨夫

「戦争放棄」「徹底した平和主義」をうたった憲法9条に賛同する一点で集まった人の会が「九条の会」ですが、本会もご多分に漏れず高齢化が進み、若者の参加が課題となっています。そんな折、新聞の発言欄に「憲法九条は日本の誇り」と言う高校生(十八才)の発言がありました。発言を要約すると

「高校の授業で憲法9条に触れ、感動した。9条は過去の戦争の過ちを反省し、平和を守ることを徹底したことで国民から支持された。9条を持つ国の国民であることを誇りに思った。同時にこの理念を国外にも広めて世界平和の一つのきっかけになってほしいと思った。だがこの9条が今や改定されようとしている。

自衛のために軍備を整えると、他国は自衛を名目にそれ以上の軍備を持つとうとし、その結果、核兵器にさえ手を出すことになる。その負のスパイラルから脱出するにはやはり「徹底した平和主義の実現が早道なのではないか」と思った。自衛のため「国を守る」と言う名目こそが、過去の多くの悲惨な戦争を世界にもたらした。この事実から逃げ続けてはいけないと思つた。」

適切な若者の発言だと思います。「徹底した平和主義」の実現を目指すのが「九条の会」です。これに賛同する若者助っ人大歓迎です。

九条の会のおじんおばんは期待しています。

